

水稲 トビイロウンカの発生に注意してください

・当JA管内においても、トビイロウンカ(図1)の発生が例年より多く発生しており、相談も多数寄せられています。

・一部ほ場では「坪枯れ」被害が発生しています(図2)。

被害が今後も発生・拡大する可能性があるため、必要に応じて下記の防除方法・対策をすみやかに実施してください。

○防除方法・対策

・トビイロウンカは水田内で局所的に発生するため、水田内を広く見回り、株元を観察する。

・多発が確認された場合は、表1の薬剤を使用時期(収穫前日数)に注意しつつ、散布する。

トビイロウンカは株元に多いので、散布時は株元まで十分に薬剤が行き渡るように注意する。

・既に「坪枯れ」被害が発生しているほ場に散布する場合は、被害拡大を防ぐため、被害の発生している部分だけでなく、ほ場全体に散布するように努める。

・早期落水は坪枯れの発生を助長するので、適期落水に努める。

・収穫適期に近い場合は、可能な限り早めに収穫する。

表1 主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
スタークル顆粒水溶剤	3,000 倍	収穫7日前まで	3回以内
アルバリン顆粒水溶剤	3,000 倍	収穫7日前まで	3回以内

○トビイロウンカとは

・成虫は4～5mm で、体色は脂ぎった褐色。

・成虫は長翅型と短翅型があり、長翅型が梅雨時期に大陸から飛来し、次世代以降に主に短翅型が

増殖する。8月以降急激に増殖し、秋に被害を起こすため通称「秋ウンカ」と呼ばれる。

・成虫と幼虫が株元で吸汁加害して急激に増殖し、多発すると秋に「坪枯れ」を生じさせる。

図1 トビイロウンカ(長翅型成虫)



図2 トビイロウンカによる「坪枯れ」被害

